

二つの屏風が語る大阪

～「豊臣期大坂図屏風」と「浪花名所図屏風」～



▲「浪花名所図屏風」個人蔵
 ▲「豊臣期大坂図屏風」エッゲンベルク城所蔵(世界文化遺産)



日時

2015年
11月9日[月] 13:00～16:00 (開場12:30)

会場

**大阪市中心公会堂
中集会室(3階)**

**入場
無料**

※未就学児不可

定員
400名
申込み締め切り
11月5日[木]

- 【主催】 芸術文化魅力育成プロジェクト実行委員会(構成団体：大阪府、大阪市)
 【事業者】 公益財団法人山本能楽堂
 【協賛】 関西大学なにわ大阪研究センター設置準備プロジェクト
 【協力】 ラジオ大阪OBC
 サントリーパブリシティサービスグループ(大阪市中心公会堂指定管理者)
 公益財団法人大阪観光局

【お申込み】 ●「[関西大学 なにわ大阪研究センター 講座申込みページ](http://qq4q.biz/nTOe)」からお申し込みください。

(<http://qq4q.biz/nTOe>)

または右記のQRコードからもアクセスできます。

●往復はがき・FAXでも受付いたします。

関西大学なにわ大阪研究センター設置準備室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 簡文館増築棟

TEL. 06-6368-1329 FAX. 06-6368-0092



二つの屏風が語る大阪

～「豊臣期大坂図屏風」と「浪花名所図屏風」～

2006年オーストリアのエッゲンベルク城で発見された「豊臣期大坂図屏風」と
2014年国内で発見された幕末期の「浪花名所図屏風」、
この二つの屏風が語る大阪の歴史と文化そして景観を探ります。

会場にて
屏風のレプリカを
展示致します

第1部

半能「高砂」の上演(30分)



観世流能楽師
山本 章弘
やまもと あきひろ

重要無形文化財保持者総合指定保持者。
初舞台は3歳。
亡父・山本眞義、故二十四世宗家観世左近、二十五世宗家観世清和に師事。
公益財団法人 山本能楽堂 代表理事。
公益財団法人 能楽協会 本部理事、大阪支部常議員。
関西大学文学部卒業。
山本能楽堂を中心に能楽の普及と継承につとめ、大阪商工会議所、大阪市、大阪観光局とともに立ち上げた「初心者のための上方伝統芸能ナイト」公演により、大阪が「芸能の都」である事を周知し上方伝統芸能の振興につとめる。
大阪文化祭奨励賞、パナソニック教育財団奨励賞、関西元氣文化圏特別賞、ティファニー財団伝統文化大賞、日本水大賞未来開拓賞など受賞。

第2部

◆講演1 「豊臣期大坂図屏風」と竹生島宝厳寺(30分)

高橋 隆博(関西大学名誉教授)

◆講演2 新発見「浪花名所図屏風」(30分)

F.エームケ(ケルン大学名誉教授)

◆パネル・ディスカッション(45分)

高橋 隆博/F.エームケ/

谷 直樹(大阪くらしの今昔館館長)

進行：長谷 洋一(関西大学文学部教授)



高橋 隆博

たかはし たかひろ

1945年、山形県生まれ、関西大学大学院修了。奈良県立美術館総括学芸員、帝塚山短期大学を経て関西大学文学部教授。同大学博物館館長、なにわ・大阪文化遺産学研究センター長を歴任し、現在、関西大学名誉教授・なにわ大阪研究センター特別顧問、文化庁調査員、京都国立博物館評議員、日本伝統工芸展監査委員選考委員。専門は東洋工芸史・文化遺産学。



Franziska Ehmcke

ふらんつすか えーむけ

1947年、ドイツ生まれ、ハンブルグ大学大学院修了、ケルン大学教授。大学院在学中に東北大学大学院に留学。現在、ケルン大学名誉教授。2013年旭日中授章受賞。専門は日本文化史・日本思想史。



谷 直樹

たに なおき

1948年、兵庫県生まれ。京都大学工学部卒業、同大学院修士課程修了・同博士課程退学。京都市史編さん所、堺市博物館主任研究員を経て、大阪市立大学生活科学部教授。生活科学部長・生活科学研究科長、文化交流センター所長を歴任し、現在、大阪市立大学名誉教授、大阪市立住まいのミュージアム(大阪くらしの今昔館)館長。専門は日本建築史、都市生活史、博物館学。



長谷 洋一

はせ よういち

1960年、奈良県生まれ。関西大学文学部卒業。堺市教育委員会社会教育課文化財保護係、大阪府埋蔵文化財協会、堺市立埋蔵文化財センター、堺市博物館学芸課を経て関西大学文学部教授。現在、関西大学博物館館長。専門は中・近世彫刻をはじめとする仏教美術史、文化財(美術工芸)

会場への
アクセス

大阪市中央公会堂

大阪市北区中之島1-1-27 TEL.06-6208-2002



・大阪市営地下鉄御堂筋線「淀屋橋」下車1番出口から徒歩約5分
・京阪電鉄「淀屋橋」下車、徒歩約5分